

「高山市こども若者オンライン意見箱」の設置について

市ではこれまで、計画策定時におけるアンケート調査、出前授業を活用した対面での意見聴取、特定の案件に対する人気投票などにより、こども若者の意見聴取を行ってきた。

令和7年3月に策定した「高山市こども未来計画」においては、基本姿勢（重視すべき視点）の一つに「意見の反映」を掲げ、具体的にはオンライン意見箱の設置などに取り組むこととしている。

令和7年8月の「高山市こども未来計画（こども用）」の策定に合わせ、市内のこども若者を対象とした「オンライン意見箱」を設置、運用を開始し、合わせて周知や利用促進に取り組むことにより、こども若者の意見を反映した市政運営を推進することとする。

1. 目的

(1) こども若者の想いを聴いて取組みに活かす 『現状把握と施策の磨き上げ』

当事者であるこども若者がどのように感じているか、どんなことを考えているかを把握し、アイデアを採用したり、施策立案や見直しに反映するなど施策の実効性を高める。

(2) こども若者の想いに応えることで社会参加を促す 『未来を担う人材づくり』

市に提出した自身の意見などに対する反応があった、施策に取入れられたといった「成功体験」を得ることにより、こども若者の次回以降の意見提出、社会参加などの動機付けとする。

2. 名称など

○名称 高山市こども若者オンライン意見箱

○愛称 言え～る（いえ～る）

「意見を言える」＋「（こども若者の想いを）応援する（エール）」の造語

○ロゴ



3. 対象者

○概ね小学1年生のこども～30代の若者

○交流人口の多い都市であることを鑑み、住所要件は問わない

4. 主な特徴

○事前登録などは不要、対象者は誰でも、気軽に、簡単に意見の提出ができる。

○意見を言いたい相手がある場合は選べるようにし、より相手に届くように配慮する。

○意見への回答、提案に対する検討結果などをフィードバックできる仕組みを組込む。

5. 運用開始

令和7年9月以降の早期

6. 周知啓発

各種広報媒体（デジタル含む）、出前授業、啓発グッズ など

<参考> 設問（案）

(1) あなたの年代を選んでください。【必須】

選択肢 (択一)	小学1～3年／小学4～6年／中学1～3年／ 高校生の年代（18歳の年度末まで）／その他の10代／20代／30代
-------------	--

(2) あなたの高山市との関係について、最も近いものを選んでください。【必須】

選択肢 (択一)	市内に住んでいる／市内には住んでいないが市内の学校に通っている／ 市内には住んでいないが市内の会社に務めている／ それ以外（高山市に旅行に来たことがあるなど）
-------------	---

(3) この意見を言いたい人（相手）がある場合、誰に一番言いたいかを選んでください。【任意】

特に相手がない場合は、回答せずに次へ進んでください。

選択肢 (択一)	高山市役所の職員（高山市長を含みます）／父又は母、両親／学校の先生／ 友達や同年代の人／地域の大人／その他（自由記述）
-------------	--

（注記）出した意見が、直接、特定の個人に伝わることはありません。また、意見を一番言いたい相手が複数の選択肢に及ぶ場合は、分けて回答をお願いします。

(4) 意見を記入してください。【必須】

より暮らしやすい地域や生活環境にするためのアイデア、こういことをしたいがサポートが欲しい、こども未来計画を見て感じたことや提案したいこと など

※具体的な不安や悩みなどがある場合は、相談窓口からお願いします。（リンク）

どこに相談して良いか分からない場合は、連絡先と相談内容を記入してください。

自由記述	こども 2,000 文字、若者 5,000 文字まで
------	----------------------------

（注記）何らかの形で意見を公開する場合、個人情報伏せて公開します。

(5) この意見に対し、高山市から回答が欲しい場合は、氏名を記入し、回答の受取り方法を選んでください。【任意】

氏名

氏名入力	100 文字まで
------	----------

回答の受取り方法

選択肢 (択一)	電子メール（アドレス入力）／こども未来部窓口（高山市役所1階）への掲出／ 市のHPへの掲載
-------------	--

（注記）原則1か月以内に回答しますが、内容などによっては希望に添えない場合があります。同じ主旨の意見が多く出された場合は、まとめて「市のHPへの掲載」により回答とする場合があります。

（注記）回答を希望しない場合でも、同様に「市のHPへの掲載」により、個人が特定できる情報を除いて、公開することを想定しています。

備考

○小学生以下の回答者には、こどもにも分かりやすい言葉遣いになるよう調整します。

○特定のテーマ（例えば、こども若者に関する施設整備）を設定し、テーマに関する意見を募集するといったケースも想定しています。